

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」・第3回実証試験の開催概要

- インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」は、地方自治体（施設管理者）が抱える施設管理に関する課題に対し、民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介する**実証試験**を実施しました。
- 第3回実証試験では、湯梨浜町から提供されたニーズ「イノシシ対策技術」に対して、民間企業等3社（一般社団法人日本イノシシコンサルタント協会、株式会社ダイクレ、ラボテック株式会社が製品の紹介を行った後に、現地において試験施工を行いました。今後、試験施工後の効果検証を経て実装に向けた検討が進められます。

■日 時：令和4年8月8日（月）13:30～16:00 ■場 所：鳥取県東伯郡湯梨浜町唐川地内

■参加者：23名【施設管理者 湯梨浜町：3名/ 地元住民：5名 / 民間企業等：5名／3社 / インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員：8名/ 中国地方整備局：2名】

○開会挨拶



インフラメンテナンス国民会議
フォーラムリーダー 藤井 堅
(広島大学名誉教授)

○ニーズ提供者挨拶



湯梨浜町 産業振興課
課長 遠藤 秀光

○閉会挨拶



中国地方整備局 企画部
事業調整官 高口 敏弘

○製品の紹介、現地での試験施工

一般社団法人イノシシコンサルタント協会
製品名「猪ふまず」



株式会社ダイクレ
製品名「イノピー」



ラボテック株式会社
製品名「NIGETEC」



施設管理者が抱える
維持管理の課題収集

↓

ピッチイベント
(課題を解決する技術の提案会)
第4回：R3.12.23

↓

実用化を検証する
実証試験
第3回：R4.8.8

↓

マッチング
(社会実装)



▲製品説明、質疑応答の様子

○町役場職員の感想 ➤ 製品の特徴や施工性を確認することができた。以後の効果検証の結果を踏まえて、実用化を検討したい。